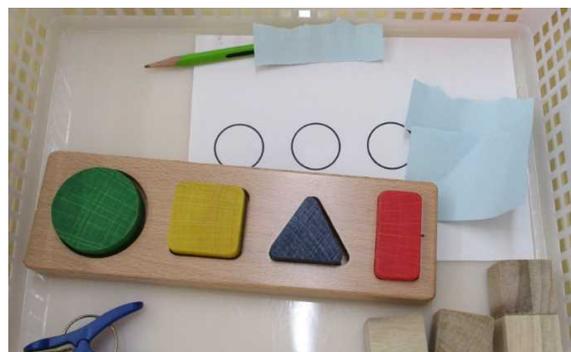
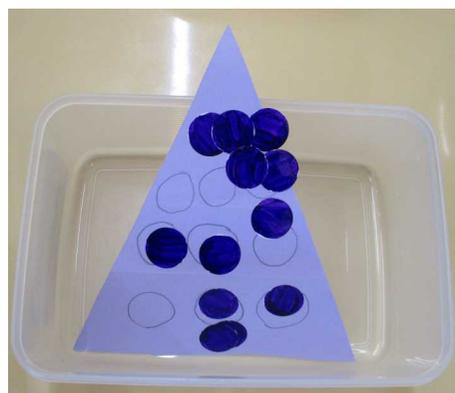




優良事例のご紹介

令和4年度 指定障害福祉サービス事業者等に対する集団指導
札幌市障がい福祉課

個々の特性にあった遊び道具を手作り (児童発達支援、放課後等デイサービス)



- ・個々の児童の特性を分析し、療育に必要な遊び道具を手作りする。
- ・保護者から徴収する教材費で、個々の特性にも配慮した玩具を作成していることは、保護者からも高い評価を受けている。
- ・児童一人ひとりに目を向けた療育内容を事業所内で検討し、手作りしていた姿勢が評価できた。

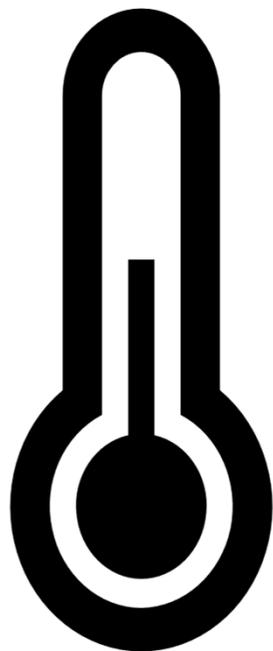
靴ひもを結ぶ練習道具 (児童発達支援、放課後等デイサービス)



- ・日常生活に直結する動作を療育に組み込むために職員が手作りしていた。
- ・児童が興味を持つように、カラフルな色合いで教材を作成し、遊び感覚で取り組むことができるよう配慮されていた。

気持ちの可視化

(児童発達支援、放課後等デイサービス)



おこる

・他害、自傷行為が見受けられる児童に対して、感情を客観的にとらえる訓練として取り入れていた。

イライラ

・あらかじめ温度計の絵を用意しておき、今の気持ちを温度計に書き記す。

いやなきもち

・なぜその温度なのか、どうすれば良いのか一緒に考える。

少しいやなきもち

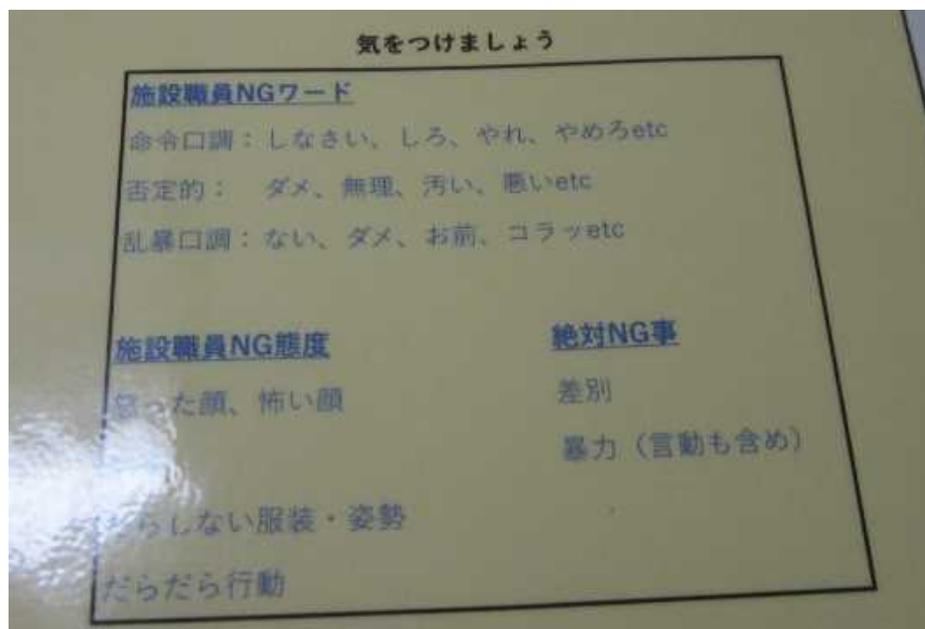
・考えることで気持ちが落ち着いてくる。

ふつう

・自分の今の気持ちを周りの人に理解してもらえる。

・職員が叱るだけではなく共に考える姿勢を示すことで、療育効果が見えていた。

職員のNGワード等を掲示



- ・NGワード、NG態度を職員室内の見やすい場所に掲示している。
- ・普段見える場所へ掲示することで、職員の意識が維持される。
- ・保護者にも事業所の姿勢が伝わり、信頼関係が深まる。

苦情解決に第三者委員を設置

(第三者委員の職務)

第5条 第三者委員の職務は次のとおりとする。

- (1) 担当者から受け付けた相談・苦情内容の報告聴取
- (2) 利用児童又は保護者等からの相談・苦情の直接受け付け
- (3) 申し出人への助言
- (4) 事業者への助言
- (5) 申出人と責任者の話し合いへの立会い・助言
- (6) 責任者からの相談・苦情に係る事案の改善状況等の報告聴取
- (7) 日常的な状況把握と意見傾聴
- (8) 福祉サービス運営適正化委員会からの事情調査・斡旋並びに必要と認める状況把握に関すること

・相談、苦情を第三者の立場で客観的に解決する目的。

・町内会の役員、民生委員、児童委員等が担うことで地域との交流も深まり、相互理解につながる。

欠席時対応加算

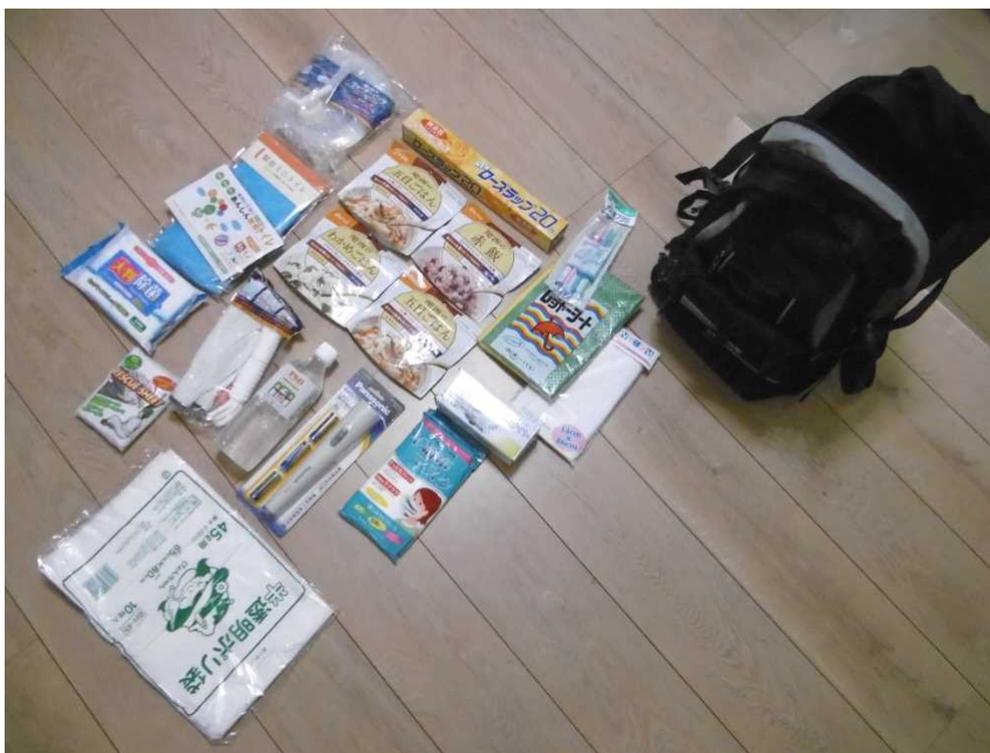
(児童発達支援、放課後等デイサービス)

個人記録		氏名	氏
日付	令和 年 月 日()	記入者	
検温	朝()℃	15:00()℃	
勉強・役割(自立課題 運動など)			
	自立課題()		
	集団(制作 運動 音楽 外活動 クッキング ダンス ヨガ)		
	学習(プリント 宿題)		
活動の様子(身辺・生活管理 余暇活動 その他)			
()月()日に()で()から			
()のため			
お休みしますとご連絡がありました。その際、次回予定と			
最近の様子等伺っています。(対応者:)			
欠席時対応加算算定			

・電話受付用の様式を電話の横に配備し、受電時に確認漏れがないようにしている。

・単に欠席の受付にならないよう、受付者が利用中止の理由を聞き取り、家族等との連絡調整、その他の相談援助をすることができる様式となっており、加算の算定要件を満たすようにしている。

利用者に防災グッズをリュックに入れて貸与 (共同生活援助)



・アルファ米、水、簡易トイレ、除菌シート、防寒用シート、軍手、ゴミ袋、懐中電灯、レジャーシート、マスク、歯ブラシ等、必要なものをリュックに入れて、利用者へ貸与する。

・利用者は「被災時はこれさえ持って行けば何とかなる」という、平時における安心感を持つことができる。

事業所出入口に避難グッズ、ヘルメットを置いておく (児童発達支援、放課後等デイサービス)



- ・日頃から防災への意識を植え付けることができる。
- ・児童が普段から目にしておくことで、防災を身近にとらえる効果がある。
- ・被災時、パニックの状況であっても、これだけは持って行けば良いと思いが回ることを期待できる。

被災に備えての町内会等との連携 (児童発達支援、放課後等デイサービス)

- ・地震、火災、水害等、災害に応じて避難場所を定め、町内会や近隣住民へ児童が避難すること、避難する経路を事前に連絡している。
- ・地域住民においても、被災時、児童が避難する可能性があることを把握していることで、児童の円滑な避難が期待できる。